



化学と教育

「書籍広告」ご掲載のお願い

公益社団法人 日本化学会

本会誌「化学と教育」は、化学の分野を中心に話題の研究や技術をやさしく解説した特集と、教育現場に役立つ化学実験の紹介などの連載記事を掲載し、本会へ所属する大学・高専・高校の教員等、約4,000名に配布をしております。

現在、「化学と教育」誌では、書籍に関する書評や新刊紹介などの掲載をしておりますが、会員読者より科学書および関連図書の情報がほしいとの要望があり、書籍広告枠を新設する運びとなりました。

本広告枠は、1/2ページの定型フォーマットの組広告で、低コストでのご掲載が可能です。

新刊・既刊の広告の他、本会所属の先生による「書評」の掲載も可能です。

この機会に是非とも本企画をご活用頂き、貴社発行書籍の拡販にお役立て頂ければ幸いです。

尚、広告に関するお問合せ、お申込みは、本会広告代理店の株式会社明報社まで、ご連絡下さい。ご検討の程よろしくお願い致します。

化学と教育_書籍広告・募集要領

- ◆ 募集媒体 : 化学と教育(毎月20日発行、4,000部)
- ◆ 掲載頁 : 後付普通頁
- ◆ 掲載料金① : 新刊・既刊1/2頁(1色) ¥20,000(税別)
- ◆ 掲載料金② : 書評1/2頁(1色) ¥20,000(税別)
※①②共に定型フォーマットへのレイアウト費用込み
- ◆ 掲載項目 : 書籍名、著(編)者、サイズ、頁数、刊行年、本体価格、内容説明文または書評(700字程度)、出版社名、ISBN
- 申込締切 : 発行前月10日
- 原稿締切 : 発行前月15日

※書評をご希望の際は、お申込み時に掲載書籍をご献本下さい。

※本体価格は、税別です。

新刊、既刊、書評表示

好評既刊 臭素およびヨウ素化合物の有機合成
— 試薬と合成法

鈴木仁美 監修・マナック(株) 研究所 著

表紙画像

臭素、液晶などの有機電子材料など、複雑な化合物の製造過程で、途中の反応段階およびヨウ素化合物は欠かせない重要な役割を、役者の演技を助ける黒衣の役割が、ヨウ素はまさしく黒衣に当てはまると言える。前の中で、とくに臭素とヨウ素について、反応を古くから利用されてきた定番のも実験化学講義の形式で掲載している。試的な合成例、反応の機能的な解説などを適所に取り入れて、より包括的な内容にすることで、理解を深め、知識を活用できる内容になっている。また、方法論を網羅的に取り入れて、反応条件、収率、文献を表にまとめている。

第1部 有機臭素化合物の合成

1 臭素とは

2 臭素化合物の合成

単体臭素を用いる合成/臭化水素を用いる合成/臭化リンを用いる合成/N-プロモ化合物を用いた合成/オニウムトリプロミドを用いる合成/金属臭化物を用いる合成/次亜臭素酸や臭素酸を用いる合成/プロモアルカンを用いる合成/プロモケトン、プロモエステル、プロモニトリルを用いる合成/ハロゲン化臭素を用いる合成/臭化ホウ素、臭化シラン、臭化シランなどを用いる合成/臭化チオニルや臭化アシルを用いる合成/有機金属化合物を用いる合成/ジアンゾニウム塩を経由する合成/ジアンおよびアジド化合物を用いる合成/ポリプロモ化合物の脱ハロゲンを利用した合成/臭素原子の転位を利用した合成/ハロゲン交換を利用した合成/脱炭酸、脱ニトロ、脱スルホン酸などを利用した合成/高原子価臭素化合物を用いる合成

第2部 有機ヨウ素化合物の合成

1 ヨウ素とは

2 ヨウ素化合物の合成

単体ヨウ素を用いる合成/ヨウ化水素を用いる合成/ヨウ化リンやヨウ化ホスホニウムを用いる合成/ハロゲン化ヨウ素を用いる合成/N-ヨド化合物を用いる合成/金属ヨウ化物を用いる合成/次亜ヨウ素酸、ヨウ素酸、過ヨウ素酸を用いる合成/ヨードアルカンやポリヨードアルカンを用いる合成/有機金属化合物を用いる合成/アジ化合物、ジアン化合物、ジアンゾニウム塩を用いる合成/アジ化ヨウ素、ヨウ素イソシアナト、ヨウ化ニトリルを用いる合成/ポリヨド化合物の脱ハロゲンを利用した合成/ヨウ素原子の転位を利用した合成/ハロゲン交換による合成/脱炭酸を利用した合成/高原子価有機ヨウ素化合物

A5判・666頁・本体価格9,800円
丸善出版
ISBN 978-4-621-30123-4

**内容説明文
または、書評**

書籍データ

お申込みは、裏面の「申込書」「原稿用紙」をご利用下さい。

化学と教育_書籍広告・申込書

(株)明報社 御中

下記の通り広告掲載を申し込み致します。

申込日 : _____年__月__日
掲載号 : _____月号
掲載枠 : _____枠 新刊 既刊 書評
掲載料金 : _____円 (税別)
御社名 : _____
ご担当名 : _____
ご住所 : 〒 _____
ご連絡先 : TEL _____ FAX _____ e-mail: _____

原稿

●タイトル :

●著(編)者名 :

●本文(700字程度) :

●サイズ : _____判 ●頁数 : _____頁 ●刊行年 : _____
●定価(税込) : _____円 ●ISBN : _____